2026年12月期　第３四半期決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　ＭＲＴ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　6034　　ＵＲＬ　https://medrt.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）小川　智也
問合せ先責任者　（役職名）取締役　　（氏名）西岡　哲也　　ＴＥＬ　03-6415-5295

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	3,063	3.3	205	70.9	201	62.3	109	34.2	114	50.2	106	ー
2025年12月期第３四半期	2,964	ー	120	ー	124	ー	81	ー	76	ー	△3	ー

	基本的１株当たり四半期利益	希薄化後１株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	20.88	ー
2025年12月期第３四半期	13.51	ー

（注）１．当社グループは、2026年12月期中間連結会計期間より、連結子会社であった株式会社医師たちとつくるの全株式を譲渡したことに伴い、同社の事業を非継続事業に分類しております。これにより、2025年12月期第３四半期についても組み替えて表示しております。したがって、売上収益、営業利益及び税引前利益は、非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しており、2025年12月期第３四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。
２．2026年12月期第３四半期及び2025年12月期第３四半期の「希薄化後１株当たり四半期利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	6,238	4,714	4,718	75.6
2025年12月期	6,477	4,646	4,645	71.7

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2026年12月期	ー	0.00	ー		
2026年12月期（予想）				5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,950	3.2	195	165.1	200	132.0	125	149.9	129	131.3	23.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規　ー社　（社名）、除外　1社　（社名　株式会社医師たちとつくる）

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	5,718,600株	2025年12月期	5,718,600株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	245,389株	2025年12月期	185,220株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	5,486,872株	2025年12月期３Ｑ	5,645,645株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）要約四半期連結財政状態計算書 …… 4
（２）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）要約四半期連結持分変動計算書 …… 8
（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（５）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（セグメント情報） …… 10
（非継続事業） …… 10
（後発事象） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、判断したものであります。

なお、当第３四半期連結累計期間において、株式会社医師たちとつくるが展開する商品製造販売サービスを非継続事業に分類しております。また、2026年６月30日公表の中期経営計画において、売上収益の内訳を見直しております。これらにより、前第３四半期連結累計期間の関連する数値を組み替えております。

（１）当四半期の経営成績の概況

当社グループを取り巻く医療・ヘルスケア業界においては、2025年には超高齢化社会に突入し、社会保障制度の持続可能性が問われています。日本の医療費は40兆円を超え、2040年度には約66兆円に達すると見込まれていることから、医療費の適正化に向け、医療提供体制の再編、地域包括ケアシステムの再整備、予防・健康増進の強化、業務効率化などの取組みが進められています。

医療現場では、2026年６月に施行された診療報酬改定において、医療従事者の深刻な人手不足への対応や処遇改善、地方における医師偏在の解消が重要課題として位置づけられました。また、マイナ保険証の利用促進や「電子カルテ情報共有サービス」の普及拡大など、国を挙げた医療DXの推進に伴い、医療機関には持続可能かつ効率的な経営・診療体制への転換が一層必要となっています。

このような事業環境のもと、当社グループは、2026年６月30日に策定したコーポレートVISION「医師の価値を、社会に届ける」及び新中期経営計画に基づき、従来の求人情報提供を中心とした医療人材サービスから、医師が有する高度な専門知識や臨床現場で培われた経験・知見を社会へ還元し、その価値を循環・拡大させる事業モデルへの転換を進めております。

医師キャリア支援領域では、組織再編や営業体制の見直しを進めるとともに、医療機関及び医師双方のニーズを的確に捉えたマッチングの強化に取り組んでおります。特に、成長領域である医師常勤紹介サービスについて、紹介案件の獲得及び成約の拡大を進めることで、当社グループの収益基盤のさらなる強化に取り組んでおります。
さらに、医師の活躍機会の創出に向けて、10万人を超える医師会員ネットワークを活用した「リサーチ・コンサル支援サービス」を展開し、製薬企業、医療機器メーカー、ヘルスケア関連企業等に対して、臨床現場に根差した医師の知見やリアルな声を提供することで、製品開発、マーケティング、事業戦略等への活用を支援しております。こうした取組みを通じて、従来の医療人材紹介に加え、医師の専門性や経験を多様な領域で社会に還元する新たな事業機会の創出を進めております。

また、医療現場の課題解決を支える基盤の強化に向け、医療DX領域の強化を進めております。グループ会社であるMedikiki株式会社が提供するクラウド型医療機器管理システム「MMS」では、初期費用ゼロ・基本機能無料のサービスモデルを通じ、医療機関における医療機器管理業務の効率化及び医療安全の向上を支援しております。医療現場のニーズを反映した継続的な機能改善や導入支援に取り組んだ結果、導入契約数は順調に増加し、2026年９月末には200を超えました。

海外においては、「ASEAN No.1 of Medical DX & Human Resource Platform」の実現に向けた事業基盤の拡大を進めております。ベトナムでは、医療人材プラットフォーム「MRT HUB」の医師会員数が2,000名を超え、医療機関数は累計400施設、掲載案件数は累計1,000件を超えるとともに、紹介対象を医師から看護師、薬剤師等へ拡大いたしました。さらに、日本人医師がベトナムの医療現場で活躍するなど、医師の海外での活躍を支援し、その専門性や経験を国境を越えて活かす取組みを進めております。

加えて、2026年９月には、グループ会社のMRT Global Management Pte Ltdとともに、医療機関、医療従事者及び医療・ヘルスケア関連企業を対象とした海外進出・海外連携支援サービスを開始いたしました。市場調査、法人設立、許認可取得、人材確保、現地医療機関等との連携支援などを通じて、日本とASEANを中心とする海外市場をつなぐ事業基盤の構築を進めております。

当社グループは、これまで培ってきた医療人材プラットフォーム及び医療DXプラットフォームを基盤として、日本国内のみならずASEANを中心とした海外においても、医師の知見や経験といった「医師の価値」を社会全体へ還元・循環させることを通じて、持続可能な医療・ヘルスケア基盤の構築を目指してまいります。そして、コーポレートVISIONである「医師の価値を、社会に届ける」の実現に向け、医療現場や地域社会の課題解決に貢献してまいります。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における売上収益は3,063,829千円（前年同期比3.3％増）、営業利益は205,932千円（同70.9％増）、税引前四半期利益は201,291千円（同62.3％増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は114,543千円（同50.2％増）となりました。

また、売上収益の内訳は、医師価値創出サービス2,599,659千円（前年同期比5.5％増）、その他464,169千円（同7.3％減）であります。

（２）当四半期の財政状態の概況

①財政状況の分析

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における資産合計につきましては、6,238,492千円となり、前連結会計年度末に対して239,140千円減少しました。これは、主に、元本の安全性の高い金融商品の取得を行ったことによりその他の金融資産（流動）が104,051千円増加しましたが、使用権資産が38,652千円減少及び借入金の返済による支出や自己株式の取得による支出などの財務活動において資金246,093千円支出されたことにより現金及び現金同等物が155,957千円減少したことによります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計につきましては、1,523,932千円となり、前連結会計年度末に対して307,112千円減少しました。これは、主に借入金の返済等により借入金が121,346千円減少したこと及び営業債務及びその他の債務が64,423千円減少したことによります。

（資本）

当第３四半期連結会計期間末における資本合計につきましては、4,714,559千円となり、前連結会計年度末に対して67,972千円増加しました。これは、主に自己株式の取得により自己株式（資本合計の控除項目）が38,463千円、利益剰余金が100,847千円増加したことによります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、1,514,150千円となり、前連結会計年度末に対して155,957千円減少しました。

当第３四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間の営業活動の結果獲得した資金は247,417千円（前年同期比32.6％減）となりました。これは、主に税引前四半期利益201,291千円、減価償却費及び償却費170,462千円を計上しましたが、法人所得税費用137,105千円を支払いしたことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間の投資活動の結果使用した資金は158,418千円（同73.4％減）となりました。これは、主に定期預金預入れによる支出51,776千円及び元本の安全性の高い金融商品等の取得によりその他の金融資産の取得による支出104,999千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間の財務活動の結果使用した資金は246,093千円（同54.8％減）となりました。これは、主に金融機関からの長期借入金の返済による支出121,346千円、リース負債の返済による支出94,766千円及び非支配持分からの子会社持分取得による支出65,787千円があったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期（2026年１月１日～2026年12月31日）の通期の連結業績予想につきましては、2026年５月26日に公表しました通期連結業績予想から変更はありません。

２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,670,107	1,514,150
営業債権及びその他の債権	449,726	434,542
棚卸資産	41,472	17,922
その他の金融資産	562,391	666,442
未収法人所得税	256	―
その他の流動資産	169,509	124,668
流動資産合計	2,893,463	2,757,725
非流動資産		
有形固定資産	59,592	56,778
使用権資産	373,432	334,780
のれん	346,730	346,730
無形資産	260,902	223,756
その他の金融資産	2,441,553	2,433,860
繰延税金資産	90,220	69,833
その他の非流動資産	11,735	15,026
非流動資産合計	3,584,168	3,480,766
資産合計	6,477,632	6,238,492

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	457,427	393,004
借入金	78,184	30,000
リース負債	113,734	137,224
その他の金融負債	116,656	38,522
未払法人所得税	84,080	42,653
その他の流動負債	356,008	391,267
流動負債合計	1,206,091	1,032,673
非流動負債		
借入金	104,412	31,250
リース負債	256,644	194,365
その他の金融負債	41,979	42,395
退職給付に係る負債	144,796	151,914
引当金	41,165	41,165
繰延税金負債	35,956	30,168
非流動負債合計	624,953	491,259
負債合計	1,831,045	1,523,932
資本		
資本金	540,565	540,565
資本剰余金	452,174	451,879
利益剰余金	3,573,623	3,674,471
自己株式	△130,470	△168,933
その他の資本の構成要素	209,304	220,176
親会社の所有者に帰属する持分合計	4,645,197	4,718,159
非支配持分	1,389	△3,599
資本合計	4,646,586	4,714,559
負債及び資本合計	6,477,632	6,238,492

（２）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

（要約四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
継続事業		
売上収益	2,964,809	3,063,829
売上原価	△979,423	△922,690
売上総利益	1,985,386	2,141,139
販売費及び一般管理費	△1,873,867	△1,937,003
その他の収益	9,000	3,387
その他の費用	－	△1,591
営業利益	120,518	205,932
金融収益	13,357	7,007
金融費用	△9,834	△11,647
税引前四半期利益	124,041	201,291
法人所得税費用	△49,703	△86,503
継続事業からの四半期利益	74,338	114,788
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益（△は損失）	7,289	△5,233
四半期利益	81,627	109,555
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	76,250	114,543
非支配持分	5,376	△4,988
四半期利益	81,627	109,555
１株当たり四半期利益		
基本的１株当たり四半期利益（△は損失）（円）		
継続事業	12.22	21.83
非継続事業	1.29	△0.95
基本的１株当たり四半期利益	13.51	20.88

（要約四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期利益	81,627	109,555
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	△75,682	△5,863
確定給付制度の再測定	39	－
純損益に振り替えられることのない項目合計	△75,642	△5,863
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	△9,872	3,039
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△9,872	3,039
税引後その他の包括利益	△85,514	△2,823
四半期包括利益	△3,887	106,731
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△9,263	111,720
非支配持分	5,376	△4,988
四半期包括利益	△3,887	106,731

（３）要約四半期連結持分変動計算書

前第３四半期連結累計期間（自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）

（単位：千円）

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	合計		
2025年１月１日時点の残高	540,565	452,926	3,578,674	△1,142	△55,509	4,515,512	112,092	4,627,605
四半期利益（△は損失）			76,250			76,250	5,376	81,627
その他の包括利益					△85,514	△85,514		△85,514
四半期包括利益合計	－	－	76,250	－	△85,514	△9,263	5,376	△3,887
自己株式の取得		△556		△94,148		△94,704		△94,704
所有者との取引合計	－	△556	－	△94,148	－	△94,704	－	△94,704
2025年９月30日時点の残高	540,565	452,369	3,654,925	△95,291	△141,024	4,411,544	117,469	4,529,013

当第３四半期連結累計期間（自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）

（単位：千円）

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	合計		
2026年１月１日時点の残高	540,565	452,174	3,573,623	△130,470	209,304	4,645,197	1,389	4,646,586
四半期利益（△は損失）			114,543			114,543	△4,988	109,555
その他の包括利益					△2,823	△2,823		△2,823
四半期包括利益合計	－	－	114,543	－	△2,823	111,720	△4,988	106,731
自己株式の取得		△294		△38,463		△38,758		△38,758
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△13,696		13,696	－		－
所有者との取引合計	－	△294	△13,696	△38,463	13,696	△38,758	－	△38,758
2026年９月30日時点の残高	540,565	451,879	3,674,471	△168,933	220,176	4,718,159	△3,599	4,714,559

（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	124,041	201,291
非継続事業からの税引前四半期利益（△は損失）	7,289	△9,654
減価償却費及び償却費	183,180	170,462
金融収益	△13,357	△7,007
金融費用	9,834	11,647
子会社株式売却益	－	△18,901
子会社株式売却損	－	5,902
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	52,289	△10,838
棚卸資産の増減額（△は増加）	△8,465	△1,550
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	△43,942	△27,065
その他	38,051	71,453
小計	348,921	385,741
利息及び配当金の受取額	7,821	7,007
利息の支払額	△8,611	△8,803
法人所得税の支払額	△31,939	△137,105
法人所得税の還付額	50,998	577
営業活動によるキャッシュ・フロー	367,190	247,417
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	－	8,506
定期預金の預入による支出	－	△51,776
有形固定資産の取得による支出	△7,409	△21,650
無形資産の取得による支出	△46,862	△24,610
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	2,606	－
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	－	△4,387
その他の金融資産の売却による収入	－	43,191
その他の金融資産の取得による支出	△539,005	△104,999
その他	△5,833	△2,692
投資活動によるキャッシュ・フロー	△596,503	△158,418
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△55,900	△121,346
短期借入金の純増減額（△は減少）	△300,000	70,000
リース負債の返済による支出	△94,198	△94,766
自己株式取得のための預託金の増減額（△は増加）	△611	4,282
非支配持分からの子会社持分取得による支出	－	△65,787
自己株式の取得による支出	△94,148	△38,463
配当金の支払額	△98	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△544,956	△246,093
現金及び現金同等物に係る換算差額	△167	1,136
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△774,437	△155,957
現金及び現金同等物の期首残高	2,605,218	1,670,107
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,830,781	1,514,150

（５）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社グループは、医師価値創出事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

なお、2026年６月30日公表の中期経営計画において、売上収益の名称を変更しております。

（非継続事業）

当社グループは、2026年５月26日に、資本効率の向上及び経営資源配分の最適化を目的に、医師監修による商品開発及び販売を展開する株式会社医師たちとつくるの株式を譲渡しました。

そのため、当第３四半期連結累計期間における商品開発及び販売事業に関連する損益及びキャッシュ・フローを、非継続事業として分類するとともに、前第３四半期連結累計期間についても再表示し、当該非継続事業を区分して表示しております。

(1) 非継続事業の業績

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
非継続事業の損益		
収益	302,046	126,231
費用	△294,757	△135,885
非継続事業からの税引前四半期利益(△は損失)（注）	7,289	△9,654
法人所得税費用（注）	－	4,420
非継続事業からの四半期利益（△は損失）	7,289	△5,233

（注）当第３四半期連結累計期間において、株式会社医師たちとつくるの株式を譲渡したことによる売却益18,901千円が含まれております。なお、これに係る法人所得税費用は3,694千円であります。

(2) 非継続事業からのキャッシュ・フロー

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
非継続事業からのキャッシュ・フロー		
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,304	△45,049
投資活動によるキャッシュ・フロー	－	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	35,000	△5,000
合計	91,304	△50,049

（後発事象）

該当事項はありません。